

北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会
〒803-0817 北九州市小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel 093-592-5000 Fax 093-571-4346
E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

北九州革新懇 インタビュー



プロフィール 南 嘉久(みなみよしひさ)さん

1947 年生まれ。長崎原爆で兄姉 4人、原爆症

のため父と兄、計6人を失う。現在、福岡県原爆被害者団体協議会事務局長。福岡被爆二世の会会長。

●福岡県被団協事務局長になられてから、今年
の同総会で「戦争立法」法制化反対の決議を採
択されていますが、どんな思いからでしょう。

——衆議院での「戦争法案」強行採決に対して、
7月16日総会後の第一回理事会でも「戦争法案
の強行採決を被爆者として満身の怒りを込めて
糾弾する」との意思を表明し、首相官邸に FAX
で送りました。

私たちは、原爆でかけがえのない身内を失い、
同胞をなくしました、生きながら放射線障害に生
涯苦しめられました。原爆は戦争によって開発さ
れました。福岡県被団協総会で特別決議「日本
を海外で戦争をする国へと変貌させる『戦争法』
案法制化の動きを厳しく批判する」を採択し、今
回の衆院での強行採決に意見表明したことは被
爆者としての責務だと感じたからです。

「戦争法案」はアメリカの核抑止力の下で、米
軍と一体化することです。核抑止力はいざとい
うとき核兵器を使うということです。日本がそれ
に加担することは許されません。二度と原爆を使
わしてはならない、満身の怒りを込めて意思を
表明しようと決議を採択しました。福岡県は、
広島、長崎に次いで被爆者の多い県であり、積極

見を発信すべきポジションにあると思います。

●核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれた
ニューヨークに行かれましたが、向こうでどんな
活動をされましたか。また、原水禁世界大会が
目前ですがどんな取り組みをされていますか。

——ことしの再検討会議に対する期待は大き
かったです。前回会議の合意にもとづき核兵器
廃絶をめざす具体的転換に踏み出す年にしよう
という期待です。その前から、核兵器の非人道
性について国際世論が大きく広がっていました。
同時に、核大国の“壁”も強かったと思います。
最終的にアメリカ等の反対で合意文書は採
択されませんでした。しかし私は、そのことが
主要なことではなく、核兵器の非人道性から
廃絶を迫っていく国際的世論が大きな流れに
なっていることが明確に示されたのが今回の
再検討会議ではなかったかと思っています。

ニューヨークでは、国連の中で原爆展を開
き、被爆者とともに二世として「証言」活動
を行いました。また、集会やデモ行進で核兵
器廃絶をアピールしました。国連職員の子
弟が通う小中学校の生徒30人、市内の高
校生170人に対して10分～20分のスピー
チ、「証言」をする機会もあり

ました。被爆の実相を真剣に聞いてくれ質問もしてくる、共感もしてくれて希望を感じました。被団協の代表団50人が各国政府代表に要請行動を行い、私たちはアイルランド代表に会って核兵器廃絶のための具体的行動、国際交渉を始めることなどを要請しました。

原水禁大会へのとりくみでは、私は広島大会に参加し、広島市の被爆70年の市民集会や式典にも参加します。NPT 会議後の核兵器廃絶の行動に参加したいと思っています。また、NPT 会議に参加しての報告書をつくり、核兵器の非人道性についての国際世論の広がりを伝えていきたい。10月には、県被団協として原爆死没者慰霊式典と記念講演(前長崎原爆病院院長・朝長万佐男氏)に取り組みます。被爆70年・戦後70年の節目として被爆の実相を伝えることが核兵器廃絶運動の原点ですから。

●戸畑革新懇の再結成にかかわっていただきましたが、当時と違った立場にあって今後革新懇運動にどのように参加していただけますか。

——月曜から金曜まで毎日福岡市の県被団協事務局に通勤し、仕事をしています。このひと月の間に日本被団協の会議などで3回東京に出張もありました。土、日も結構催しがあつて忙しくしていますので戸畑の取り組みになかなか参加できません。情勢はいま、革新懇運動が3つの共同目標にもとづいて前進していくチャンスだと

思います。たたかいは質的に変化していて、主権者として自覚した国民的運動が高まっています。私も被爆二世として、核兵器廃絶のテーマなど特性をいかして革新懇運動に参加したいと思っています。8月には社民党福岡県本部の「戦後70年平和集会」に呼ばれています(県被団協は賛同団体となっています)。大分県の創価学会青年部からも講演依頼を受けています。「『心の被爆者』という思想～広島・長崎をどのように受け継いでいくのか」をテーマに語る予定です。いろいろな立場、考えの人たちと一緒に頑張っていきたいと思っています。



核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれていた米ニューヨークで原爆投下後には救護所になった自身の母校、新興善小学校(旧新興善国民学校)の写真の前で証言する南嘉久さん(米ニューヨーク朝日新聞デジタル版 2015年5月1日)

2015年度北九州革新懇総会が開かれました

7月4日、北九州革新懇は小倉区内で2015年度総会を開きました。

三輪俊和代表世話人の開会あいさつに続いて、田村貴昭衆議院議員が「電気紙芝居」で、21名となった衆議院議員団の活躍や自身の所属する総務委員会でのエピソード、「戦争法案」の詳しい説明、そして連日国会周辺で行われている大集会、北九州での大集会等々臨場感にあふれたスライドを使った講演は、参加者の気持ちを一つにして盛り上がりました。その後事務局からの経過報告、2015年度の活動方針、会計報告などの提案がされましたが、特に「6・19戦争法案を許さない北九州大集会」の実行委員会には、これまでの経験を上回る共同の広がりや、

6・19大集会にとどまらず第2弾、第3弾の大集会の計画など戦争法案阻止の一点での息の長い共同が実現していることが強調されました。

討論では、各区革新懇が、映画「標的の村」の上映に本気で取り組むことで、革新懇活動を地域で展開でき、多くの参加者と沖縄連帯の活動を前進させた経験や、戦争法案廃止のために、諸団体と共同行動委員会・実行委員会の結成で継続的に宣伝・署名行動に取り組んでいる様子、そのなかで教会の牧師など新しい賛同を上げた経験、また区革新懇総会に、辺野古新吉基地建設闘争委員会の責任者を呼んだ講演会、「楽しく学びながら仲間を増やしていこう」とバスツアーの取り組み、そしてこうした行動のなかで

会員を拡大した経験等々、多彩で豊かな活動が報告されました。また、田中光明市議からは、埋め立て事業の失敗で多額の税金が赤字補てんに使われていること、サッカースタジアムの事業費がどんどん膨らんで当初の1・5倍になっていること、また、次回市議選で議員定数削減の動きなどの市政の実態の報告、普天間基地建設の大浦湾埋め立てのために門司区や本土の土砂を大量搬送する計画に反対する組織を発足させて闘いを始めたことなどの報告が続きました。最後に、篠田清代表世話人から、延長国会での強行採決の動きや戦争法案阻止の闘いのなかで、青年・学生の活躍などの新しいごきや北九州革新懇が続けているインタビューで新しいつ

ながりを広げている活動などをもっと大きく広げて革新懇運動を前進させようとの討論のまとめで総会を終えました。



6月13日、八幡西革新懇第3回総会を開催

報告・文責 池村 好順

2015年度八幡西革新懇第3回総会を、6月13日(土)13時・黒崎コムシティに於いて開催することができました。参加者は45名でした。会員でない方も、かなり参加されていました。資料がやや不足し、参加された方に迷惑をかけてしまい申しわけありませんでした。

司会は、瀬下さん(キリスト者・9条の会)が担当しました。心のこもった丁寧な進行を心がけていただき、穏やかな雰囲気の中ですべてをすすめることができました。

○第1部の講演

・わが西革新懇の衆議院議員・真島省三氏が、「戦争立法反対闘争」等の国会報告を行いました。「戦争法案」を巡る最新の国会情勢を熱く明瞭に報告していただきました。安倍政権が言葉をもてあそび、矛盾とごまかしに終始している「戦争法案」は明白な違憲立法であり、国民の多くの反対・批判が国会を取りまき、安倍政権を徐々に追い詰めていることが報告されました。緊迫した政治情勢の中、参加者のかなりの方が真島氏の国会報告が聞きたくて会場に来られた方もかなりいたようです。

・次に、5・17沖縄県民大集会のDVDを上映しました。辺野古米軍新基地反対を掲げ3万5千人が集い、オール沖縄の団結力を力強く示しました。八幡からもこの集会に参加しています。沖縄との連帯が、八幡の地からも少しずつ始まって

います。(このDVDには衆議院議員の田村氏も写っていますよ！)

○第Ⅱ部 総会

・開会の挨拶は、世話人を代表して雪竹一徳さんが行いました。

・経過報告は、嶋國勝世話人が報告しました。

・運動方針(案)を池村が提案し、決算報告・15年度予算(案)については、嶋國勝世話人が報告・提案をしました。次に、質疑・意見交換を行い、3人の方が発言しました。

最初に、北川医師が「命と健康」の問題を中心に意見を述べました。田中市議は、今、市議会で問題になっていることを幾つかまとめて報告をしました。安永税理士は、マイナン



バー制の問題点をわかりやすく指摘しました。

最後に今年度世話人14名の提案がなされ、参加者によって全ての議題が承認され、第3回総会を無事終えることができました。

るため八幡西革新懇がその運動の中心になる必要性・重要性を、改めて実感させられました。

☆、総会を通じ、とりわけ「戦争法案」を廃案にす

戸畑革新懇第5回総会を開催

戸畑革新懇第5回総会が6月20日、ケアハウスらいふ戸畑「会議室」で開催されました。総会の前半は、日本共産党まじま省三衆院議員が「戦争法案をめぐる情勢」について記念講演を行い、国会論戦で明白になった「戦争法案」の違憲の本質——アメリカが世界のどこであれ戦争に乗り出した際に、自衛隊がこれまで「戦闘地域」とされてきた地域まで行って弾薬の補給、武器の輸送などの兵站を行うことなど、「戦争法案」が日本を「海外で戦争する国」につくりかえる憲法違反の法案であることを浮き彫りにしました。この講演を、60人を超える参加者が熱心に聞き入りました。

講演の後、総会議事に移り、荒川徹代表世話人が「前回総会からの活動のまとめ、2015年度

の活動方針」について報告提案。「憲法九条を守り、許さない活動」など一年間の活動、「歴史的岐路に立つ情勢と革新懇の役割」「当面第一の課題として、『戦争法案』阻止の活動に全力」など活動方針を述べました。

質疑・討論では、この報告を受けて3人が発言しました。①南嘉久さんは自身が被爆二世として、福岡県原爆被害者団体協議会総会で決議「日本を海外で戦争する国へと変貌させる『戦争立法』案法制化の動きを厳しく批判する」を採択したとりくみなどについて発言、②長谷川緑さんは「新日本婦人の会」が取り組んでいる「戦争法案」廃案よびかける宣伝・署名行動“レッド・アクション”の戸畑でのとりくみについて発言、③政時かずよさんは、戸畑で『ぞうれっしゃ』をうたおう実行委員会がとりにくんでいる「こども・いのち・へいわコンサート」(8月16日開催)への協力をよびかけました。

総会はずつく議事で、「2014年度決算と2015年度予算」についての報告・提案、「会計監査報告」、次期総会にまでの「世話人会・事務局体制」についての提案をそれぞれ拍手で承認。最後に、司会者の政時かずよさんが世話人ひとり一人を紹介、閉会のあいさつを行って終了しました。



小倉南革新懇第5回総会に68名参加 「辺野古基地建設反対闘争」真栄里保氏が記念講演

6月21日(日)小倉南革新懇総会が小倉南区生涯学習センターで開催されました。

開会挨拶は代表世話人の荒巻弁護士が現在国会で討議されている安全保障法案の危険性について語りました。来賓として三輪俊和氏(北九州革新懇代表)と福岡県議の高瀬菜穂子さんのお二人の挨拶がありました。



2014年度の経過報告、会計報告、会計監査報告がありました。次に2015年度の方針提起があり、三つの共同目標と3カ月に1回学習会を続けていくことが黒坂事務局長から提案されました。

記念講演は、真栄里保氏(辺野古新基地闘争委員会副責任者)＝写真④＝の「辺野古新基地建設反対闘争の現状」というテーマで、終戦後から現在に至る沖縄の米軍基地に関する種々の問題点が時系列に提起され、いまさらながら基地問題の根深さを再認識しました。

沖縄線の特徴は①本土防衛の時間稼ぎ②住民を巻き込み全滅した家族が多い③軍命による集団自決等。戦後は480㌔もの広大な土地が強制接收され(宜野湾市の4分の1に当たる)2700m40m幅の滑走路が建設されその90%が民間地主で地権者が2800人もいるそうです。ここはラムズフェルドが世界一危険な米軍基地であるといっています。基地在住の米軍による事故も多発し1955年の幼女轢殺事件、トレーラー圧殺事件、宮森小学校ジェット機墜落事件、1995年の少女暴行事件。この時は85,000人の沖縄県民が県民大会を開き日米地位協定の見直しを迫りました。しかしその後も、2004年8月13日、沖縄国際大学への米軍ヘリ備わり、200年間は

維持できる最新基地になるそうです。その費用総額は1兆円以上が予定され全額日本政府の負担(つまり我々の税金)で賄われるそうです。昨年の名護市長選で基地反対の稲嶺氏、更に沖縄県知事選では翁長雄志氏がそして衆議院選でも4人全員、基地反対派が小選挙区で当選



しました。

このことは沖縄県民の民意は辺野古基地建設反対が大半の住民に支持されているということです。現在ボーリング調査の遅れ、礎石の発見(文化財調査に七か月要す)、県議会で土砂搬入条例の制定で他県からの土砂搬入禁止を考えているそうです。今後県民の闘いとして「全国と世界中に訴えていく」方針だそうです。【文責・美濃部 勝】

戦争法案反対合同宣伝 「小倉南9条の会」 & 「小倉南革新懇」

小倉南革新懇 黒坂 佳男

「小倉南9条の会」と「小倉南革新懇」は7月26日(日)17時～18時の1時間、小倉南区のサンリブ前で、戦争法案反対の宣伝と署名活動を合同で行い23名が参加しました。日曜日の17時ということで人通りは少なかったの



ですが、バス待ちの方や買い物に来た方が署名に協力してくれました。青年や学生とも対話になり「安倍さんのやり方はよくわからない」「戦争法案は絶対反対です」と17名の方が署名に応じてくれました。

参加した方からは「小倉南区では初めての署名行動、元気が出ました」「安倍首相を追いつめるためにも今後も続けて多くの市民に訴えたい」「戦争の恐ろしさを知ってもらうことが必要」と8名の方がリレートークを行いました。宣伝には日本共産党の藤沢市議も参加し「若者を戦場に送らせない」と訴え、最後に「戦争法案反対」のシュプレヒコールを参加者全員で行いました。



2015年地域・職場・青年革新懇全国交流会実施要領を発表

1、全国交流会の意義と目的

いま日本の未来をかけた歴史的闘争がたたかわれています。安倍政権による戦後最悪の法案＝戦争法案を許さない国民各分野のたたかいが列島を包んでいます。このなかで地域・職場・青年革新懇は全国各地で、身近な要求を取り上げた地道な活動の続けるとともに、戦争法案を必ず廃案にするため、草の根から共同を広げ、全力をあげてとりくんでいます。

この歴史的なたたかいをへて、開かれる全国交流会は、情勢と運動の教訓について学び、交流し、「戦争する国」づくりを阻止するあらたな運動の出発点になる場です。同時に、安倍暴走政治を阻止するとともにさらに新しい政治をきりひらく展望と革新懇の役割を明らかにする交流の場です。そして革新懇の日常活動や組織づくり、「全国革新懇ニュース」読者拡大の経験や教訓、悩みも含めて交流し、激動する情勢の発展に応える革新懇組織への飛躍の場にしようではありませんか。

2、全国交流会の企画の基本

名称:地域・職場・青年革新懇全国交流会in千葉

主催:全国革新懇協力:千葉県革新懇

全体会

日時:2015年10月31日(土)午後1:30～5:30

会場:習志野文化ホール(規模1,500人)JR津田沼駅徒歩4分

全国交流会への「報告と問題提起」、特別発言、各分野の「一点共闘」からのあいさつ

分散会・分科会

日時:2015年11月1日(日)午前9:00～正午

会場:千葉市内12会場

地域革新懇分散会、職場革新懇交流会、青年革新懇交流会、特別企画

3、参加費など

○参加費は両日で1,000円(1日参加は500円)

○宿泊施設は、全国革新懇で4施設約200室を確保しています。

今から、各区革新懇で複数参加をめざして準備しよう！

北九州革新懇のホームページをリニューアルしました。

2015年度北九州革新懇総会の確認事項の一つであった

「ホームページ」をリニューアルを実現しました。

是非ご覧ください。アドレスは

<http://kakushinkon.webcrow.jp/>

今後は、各区革新懇のホームページ作りも目標にして、相互にリンクし、情報を共有・交流できる方向を目指します。

